

ふたばっ子とともに

R5. 10. 31

「残暑」というよりも、史上最高に暑いと感じた「夏」の続きから始まった2学期も、気が付けば2か月が過ぎようとしています。

その間にも子供たちは、様々な活動に意欲的に、真剣に取り組む姿が見られ、着実な成長の跡が伺えます。そんな日々様子は、ホームページの「双葉小ブログ」で、できるだけ余すところなくお伝えしようとして努めていますので、そちらをご覧いただければと思います。

さて、先日(10/23)に、朝会がありました。そこで、キャリア教育で育てたい4つの力について話をしました。今回は、その内容をお伝えします。

どうする!? 「4つの力」

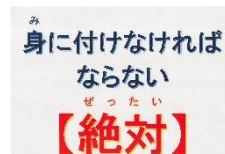
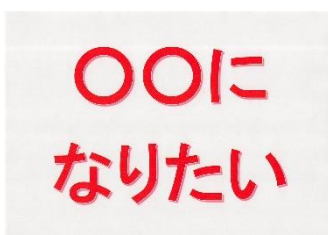
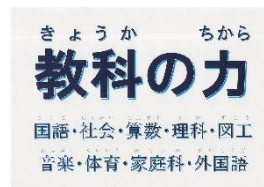
—前略—

さて、今日は、あなたが自分の夢を叶えるために、大切なことを一緒に考えてみましょう。

では「宇宙飛行士になりたい」という夢を抱いている人がいたとします。そこで問題です。

宇宙飛行士になるためには、みなさんが、勉強している中では、どんな教科の力を伸ばさないといけないと思いますか。少しだけ、頭の中で考えてみてください。

どうでしょう。宇宙に行くのですから、「理科」は当然ですね。また、いろいろな国の人と力を合わせないといけないので、「外国語」も必要でしょうね。多分、他の教科のことも頭に浮かんだ人がいると思います。



もし、あなたが「〇〇になりたい」と考える仕事や職業があり、その夢にたどり着こうとするならば、あなたは、その土台となるそれぞれの「教科の力」を身につけなければなりません。

では、この「4つの力」を知っていますか。

そうです。双葉小に通うみなさんに身につけたり、伸ばしたりしてほしいと考えている力です。実は、この4つの力は、先程の「教科の力」とは少し違って「もし、みなさんが、身に付けたり伸ばしたりできたら、あなたの人生が楽しくなったり豊かになったりする可能性が広がるだろう力」つまり、「広がるかもしれない力」です。だから、教科の力のように「絶対身に付けなければならない力」ではありません。

「なんだ、だったらその4つの力、別に身に付けなくても、伸ばさなくてもいいんじゃない。」

という声が聞こえてきそうですね。ただ「あなたがどうするか」は、今からするお話を聴いてから考えてみてください。

この写真、なんだか分かりますか。

そうですね。バスケットボールの男子日本代表チームが、パリオリンピックの出場権を自力で48年ぶりに勝ち取ったゲーム後の写真です。みんな、うれしそうですね。



「4years.asahi.com」より

さて、この日本代表チーム・・・日本人ばかりではありません。外国で生まれて、育てている選手もいます。だから、言葉や文化、考え方など違う部分は当然あります。だからこそ、話し合っ、思いを伝え合っなければなりません。

「あの人は、何と言っているのだろう」

「あの人は、何を考えているのだろう」

その疑問を一つ一つ解決し、分かり合ってきました。だから、一つのチームになれたのですよね。

「人と分かり合うこと」・・・それは「かかわる力」です。



また、チームの中には、いろいろなタイプの選手がいて、一人一人の違いがはっきりしています。身長が高い、スピードがある、シュートがよく入る、ドリブルやパスが上手い。

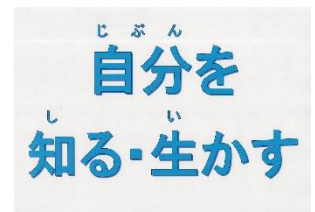
例えば、身長が低い選手が高い選手と同じことをしようとしても、それには無理があります。その上、チームの中には、プレーする選手だけでなく食事を作ったり、体の疲れを回復させたりするためのスタッフもいます。だからこそ、

「自分の良さは何か」

「自分の得意なことは何か」

それを自分に問い掛け、自分だけにしかない力を磨いてチームの力となってきました。

「自分を知り、生かすこと」・・・それは「見つめる力」です。



ところで、相手の外国チームは、強敵ばかりです。そして、攻めが上手い、守りが堅い、身長が高い選手が多いなど、それぞれのチームの特徴が違います。

「この相手の良さはどんなところか」

「この相手の苦手なところはどこか」

それを考え、相手によってしっかりと作戦を立て、戦い方を変えながら試合に臨み、勝利を積み重ねてきました。

「問題解決の方法を考え、道を切り開くこと」・・・それは「挑戦する力」です。



バスケットボール男子日本代表チームは、無事に2024年のパリオリンピック出場の切符を手に入れました。では、日本代表の選手たちは、これで満足しているのでしょうか。オリンピックに出られるだけでよいと考えているのでしょうか。

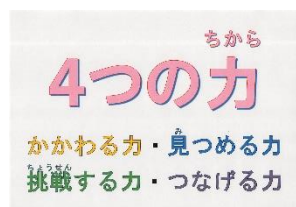
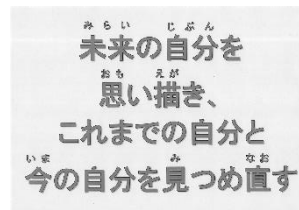
「自分は、オリンピックでどんなプレーがしたいのか」

「自分は、オリンピックの後、どうなっていたいのか」

そのために「わたしは、今、何をすればよいのか」

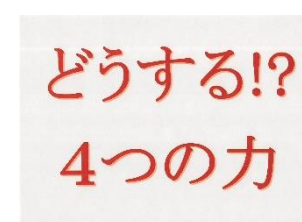
きっと、選手たちは、一年後のオリンピックで活躍する姿はもちろんのこと、その先の目標も思い描きながら、今できることやすべきことに全力で取り組んでいることでしょう。

「未来の自分を思い描き、これまでの自分や今の自分を見つめ直すこと」・・・それは「つなげる力」です。



バスケットボール男子日本代表チームの選手たちには、この4つの力が備わっていたからこそ、みんなの夢だったオリンピックの切符を自力で手にすることができたのだと考えることができます。

あなたは、今の話を聴いて、この「4つの力」をどうしていきたいと思いませんか。ぜひ、自分で考えてみてください。また、様々な学習や活動と向き合う中で、あなたには「4つの力」の中で、どんな力が身に付いたり伸びたりしているのか。そのことも考えてみてください。



双葉小のキャリア教育で育てたい「4つの力」。子供たちが、よりよい人生を送るうえで、きっといろいろな場面で支えになったり、後押しをしてくれたりする力になるのではないかと考えています。教科学習や様々な行事や活動に取り組む中で、子供たちが、この「4つの力」を手にしたたり、伸ばしたりすることを意識しながら、後期の教育活動を進めていきたいと思えます。御家庭でも、それぞれの力について話題に挙げて話してみてください。